

# 第1回甲斐市報酬等審議会（10月11日開催）における主な意見

主な意見	議員報酬及び市長等の給料	政務活動費	改定時期	その他
<p>① 昨年の審議会の結論は、コロナの影響等もあるので、据置きという結論に至ったところであるが、県内他市と比べても市長等の給料は、かなり低い水準にある。</p> <p>民間給与も3年ぶりに増加し、コロナから回復傾向にあること、また、国家公務員の給料についても人事院勧告により増額改定が見込まれているので、増額の方向で議論しても良いのではないかと。</p> <p>また、議員報酬についても、市議会議員の改選により、議員3人分の経費が削減となっていること、なり手不足の問題もあるので、市長等の給料の見直しと併せて検討しても良いのではないかと。</p>	<p>議員報酬及び市長等の給料ともに増額改定を検討する余地あり</p>			<p>増額改定する場合は、改定額及び改定時期についての検討も必要である。</p>
<p>② 市長等の給料は、他市と比較しても低いので、給料の額を上げて良いのではないかと。</p>	<p>市長等の給料は、増額改定を検討する余地あり</p>			
<p>③ 議員報酬は、高くもなく、低くもない状況であり、他市との差はあまり感じられない。</p>	<p>議員報酬は据置きが妥当である</p>			
<p>④ 昨年の審議会から1年しか経っておらず、世の中の状況も特段変わらないため、市民の理解や納得が得られるかは非常に疑問が残る。</p> <p>社会情勢が大きく変わっていないことに加え、世界情勢も混沌としている状況下において、現時点の判断としては据置きという結論が望ましいのではないかと。</p> <p>市民感覚から言うと、昨年あまり変化はないと感じている。その中で食料品など生活必需品の価格は上昇しているが、給料は上がらないという状況で市民は不安なことばかりである。</p> <p>こうした状況下において、報酬額の話し合いをすること自体がいかげなものかという思いである。</p> <p>現在も医療従事者は最前線で身を危険にさらし、感染拡大防止に取り組んでいる。常に高いリスクと闘いながらも、特別の報酬を求めることなく、使命感で職責を果たそうとしている。</p> <p>新型コロナウイルスの収束の見通しが立たない状況の中、市民の誰もが困難な状況に耐えているため、現時点においても報酬改定について議論する時期ではない。</p>	<p>議員報酬及び市長等の給料ともに据置きが妥当である</p>			

## 甲斐市議会 会派別一覧

### 【改選後（令和4年5月～）】

#### ■新政会（6人）

秋山 照雄  
清水 和弘  
若尾 彰子  
伊藤 毅  
安倍 健治  
樋口 孝之

#### ■創政甲斐クラブ（5人）

内藤 久歳  
山本 英俊  
保坂 康  
赤澤 厚  
長谷部 集

#### ■颯新クラブ（2人）

藤原 正夫  
小澤 重則

#### ■日本共産党甲斐市議団（2人）

松井 豊  
谷口 和男

#### ■公明党（2人）

金丸 幸司  
加藤 敬徳

#### 〔無会派〕（2人）

金丸 寛  
滝川 美幸

### 【改選前】

#### ■新政会（4人）

秋山 照雄  
清水 和弘  
伊藤 毅  
清水 正二

#### ■創政甲斐クラブ（4人）

内藤 久歳  
山本 英俊  
赤澤 厚  
長谷部 集

#### ■颯新クラブ（3人）

有泉 庸一郎  
藤原 正夫  
小澤 重則

#### ■日本共産党甲斐市議団（2人）

松井 豊  
谷口 和男

#### ■公明党（3人）

保坂 芳子  
金丸 幸司  
加藤 敬徳

#### ■甲斐市民クラブ（3人）

斉藤 芳夫  
五味 武彦  
滝川 美幸

#### ■進和会（2人）

金丸 寛  
小浦 宗光

※ 甲斐市議会ウェブサイトに掲載されているデータを基に資料作成